忠岡町子ども・子育て会議（第２回）会議概要

■日　時：平成26年３月18日（火）午後２時半～

■場　所：忠岡町役場 ２階健康講座室

■出席者

[委　員]◎奥田委員、○高見委員、○藤田委員、川﨑委員、萬野委員、山野委員、

大谷委員、富本委員、木下委員、正木委員、内藤委員、岡澤委員、

前田委員、島田委員

　　◎会長、○副会長

　　[事務局]すこやか推進課　武田、二重

教育委員会教育総務課　橋本、古川

　　　　　　㈱ぎょうせい 河野

■配付資料

会議次第

資料１　忠岡町こども・子育て支援に関するニーズ調査結果の概要

資料２　国の子ども・子育て会議等　検討状況

■会議次第

１．会長あいさつ

２．委員出席状況の報告

＜案件＞

１．忠岡町子ども・子育て支援に関するニーズ調査結果の概要について

２．国の子ども・子育て会議等の検討状況について

３．その他

■会議概要

次第１　会長あいさつ

副会長の藤田でございます。

本日、奥田会長が所用のため欠席されておりますので、会長の職務を代理して議長を務めさせて頂きます。

前回の会議において決定されましたニーズ調査を昨年の１１月から実施しておりましたが、１２月に回収し、本日、委員皆様に調査結果の報告をさせて頂きます。

この結果に基づきまして、平成２７年度から実施する、忠岡町子ども・子育て支援事業計画を策定していくわけでありますが、今回の調査結果を計画策定に反映させて、住民ニーズにあった、忠岡町独自の事業計画になるように忌憚のない、ご意見を聞かせて頂きたいと思います。本日はどうぞよろしくお願い申し上げます。

次第２　委員出席状況の報告

　　　　委員１４名中、１１名の出席であり、会議が成立している旨を報告。

　　　　　（欠席委員：奥田委員、富本委員、島田委員）

案件１．忠岡町子ども・子育て支援に関するニーズ調査結果の概要について

・・・・資料１に基づき、事務局説明（略）

意見等なし

案件２．国の子ども・子育て会議等の検討状況について

・・・・資料２に基づき、事務局説明（略）

質問、意見等について

委　　員：幼稚園と保育所の振り分けはどうするのか。

事 務 局：保護者の就労状況等を勘案して、保育に欠ける時間を調べ、町の方で幼稚園・保育所への振り分けを決定します。認定子ども園になってくると保護者の状況が変わったとしても、同じ施設でそのまま保育ができるといった利点があると考えます。

委　　員：今は、幼稚園と保育所では管轄が違うが。

事 務 局：現在のところは、委員ご指摘のように文部科学省と厚生労働省で管轄が分かれておりますが、今後は内閣府というところで一体的にしていくというように聞いております。今までは、保育所に入所する条件としては、保護者の就労状況を含めて非常にハードルが高かったのですが、今後はハードルを下げて、子育てがしやすくなるような制度となっております。

委　　員：今は町の組織も幼稚園担当と保育所担当で分かれているが、新制度のもとでは一緒になるのか。

事 務 局：現在、検討中でありますが、２６年度の施政方針の中にも幼保一体化といったことを掲げておりますので、そういう方向でいくための準備を現在行っているという状況であります。

　　　　忠岡町の子どもが、幼稚園に行こうが、保育所に行こうが、同じレベルの教育を受けられるようにするというのがこの制度の目的であって、幼稚園・保育所の違いは、保護者の状況だけで、朝早くから仕事にいかなければいけないのであれば、保育所に、そうでなければ幼稚園にというように理解していただければと思います。

会　　長：他にどなたかございませんでしょうか。ないようですので、次に案件３のその他について、何でも結構ですので、何かございませんでしょうか。事務局はありますか。

事 務 局：本日の案件１のとおり、ニーズ調査の結果に基づきまして、現在、本町における子ども・子育てに関する量の見込みの算定をぎょうせいさんのほうで行っていただいているところです。その見込みに基づいて２６年度中に「忠岡町子ども・子育て支援事業計画」を作ってまいりますが、委員皆様におかれましては、２６年度につきましても、引き続き本会議へのご参集をお願いいたします。次回の会議日程につきましては、決まり次第通知させていただきますので、よろしくお願い申し上げます。

会　　長：以上をもちまして、本日の会議に提出いたしました案件は、すべて終了いたしました。委員皆様ご協力ありがとうございました。

事 務 局：藤田副会長様どうもありがとうございました。委員の皆様方には、本日は長時間、ありがとうございました。これをもちまして、第２回忠岡町子ども・子育て会議を終了させていただきます。どうもありがとうございました。

了

終了時刻午後３時半